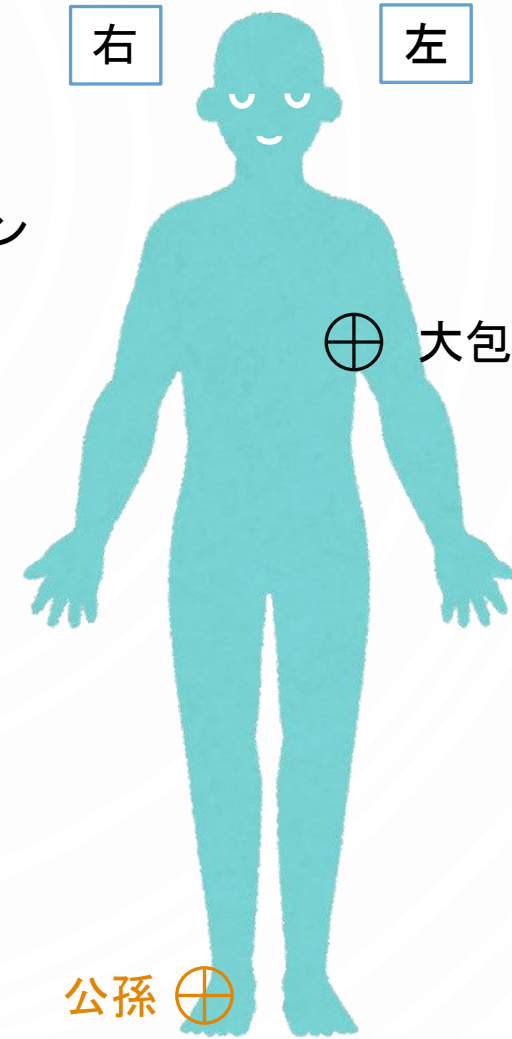


# 1.モードの使い分け(使い方)

## H1:口脾振(コウヒシン)

胃腸(消化器系)の働きを調整して体の上下の調整を主とします

⊕ チタン  
⊕ 真鍮



**チタンを左側胸部の大包に真鍮を右足の公孫に当てます。**

男女とも右足の公孫と左側胸部の大包に処方しています。統計的に左側胸部が硬く、生命活動の妨げになっているからです。ただ、片方だけ頭も首も腰も痛い、悪いと言われる方は、同側で処方しています。

# 1.モードの使い分け(使い方)

## H2: 愈募振(ユボシン)

お腹や背中を使用して体の前後の調整と内臓(五臓六腑)の環境を整えます

前

後

日月穴の方が痛い...

⊕ チタン  
⊕ 真鍮

日月穴 ⊕ ⊕ 胆愈穴

胆愈穴の方が痛い...

日月穴 ⊕ ⊕ 胆愈穴

**前側の日月穴、背中胆愈穴。うち、チタンを圧痛側、真鍮をもう一方へ。**  
基本処方 は 日月穴 と 胆愈穴 に 当てる 方法 です。 東洋医学的に使う場合は愈募配穴法を用います。 西洋医学的に使う場合はケアしたい五臓六腑を前後で挟んで使用します。 いずれも 圧痛側にチタンを当てます。

# 1.モードの使い分け(使い方)

## H3: 百脈振(ヒャクミヤクシン)

手や足にあてることにより、根本的調整や局所に対応します  
主に経絡や奇経を調整していきます

### 絡穴

足厥陰肝経: 蠡溝  
手少陰心経: 通里  
足太陰脾経: 公孫  
手太陰肺経: 列欠  
足少陰腎経: 大鐘  
手厥陰心包経: 内関  
任脈: 鳩尾  
脾の大絡: 大包

足少陽胆経: 光明  
手太陽小腸経: 支正  
足陽明胃経: 豊隆  
手陽明大腸経: 偏歴  
足太陽膀胱経: 飛揚  
手少陽三焦経: 外関  
督脈: 長強

### 郄穴

足厥陰肝経→中都  
手少陰心経→陰郄  
足太陰脾経→地機  
手太陰肺経→孔最  
足少陰腎経→水泉  
手厥陰心包経→郄門  
(奇経)

足少陽胆経→外丘  
手太陽小腸経→養老  
足陽明胃経→梁丘  
手陽明大腸経→温溜  
足太陽膀胱経→金門  
手少陽三焦経→会宗

陰蹻脈: 交信 陰維脈: 築賓  
陽蹻脈: 跗陽 陽維脈: 陽交

チタンは、施術したいところ(痛みのあるところ)に。

真鍮は、慢性ならチタンを当てた経絡上の絡穴、急性なら郄穴に。

皮膚から骨格、関節を刺激した後、自律神経から知覚神経に共鳴、運動器系の調節や経絡・奇経を調整することができます。痛み全般、神経の麻痺、背骨の調整、自律神経と体性神経の調節に使用します。

# 1.モードの使い分け(使い方)

## H4: 精気振(セイキシン)

呼吸を整え、酸素を入りやすくして血流、筋、神経を調整していきます

⊕ チタン  
⊕ 真鍮



当てる場所はそのまま  
H1(口脾振)から

H4(精気振)へ

左横図

大包 ⊕

口脾振を行った後、そのままチャンネルをH4(精気振)に変えます。

東洋医学先行(経絡・経脈・経穴など)の方におススメの使い方です。西洋医学先行(解剖・生理など)の方はH4→H1をおススメします。

## 2.プローブの使い分け(使い方)

チタンはマイナスの電位を発生させることにより、痛みの部位に効果を発揮します

+ 真鍮はプラス電位を発生させることにより主に筋の張りや冷えに効果を発揮します



銀色の方がチタンプローブ。金色の方が真鍮プローブです。奇経施術の要素を盛り込むことにより、短時間で効果を発揮することを目的としています。



# 2.プローブの使い分け(使い方)

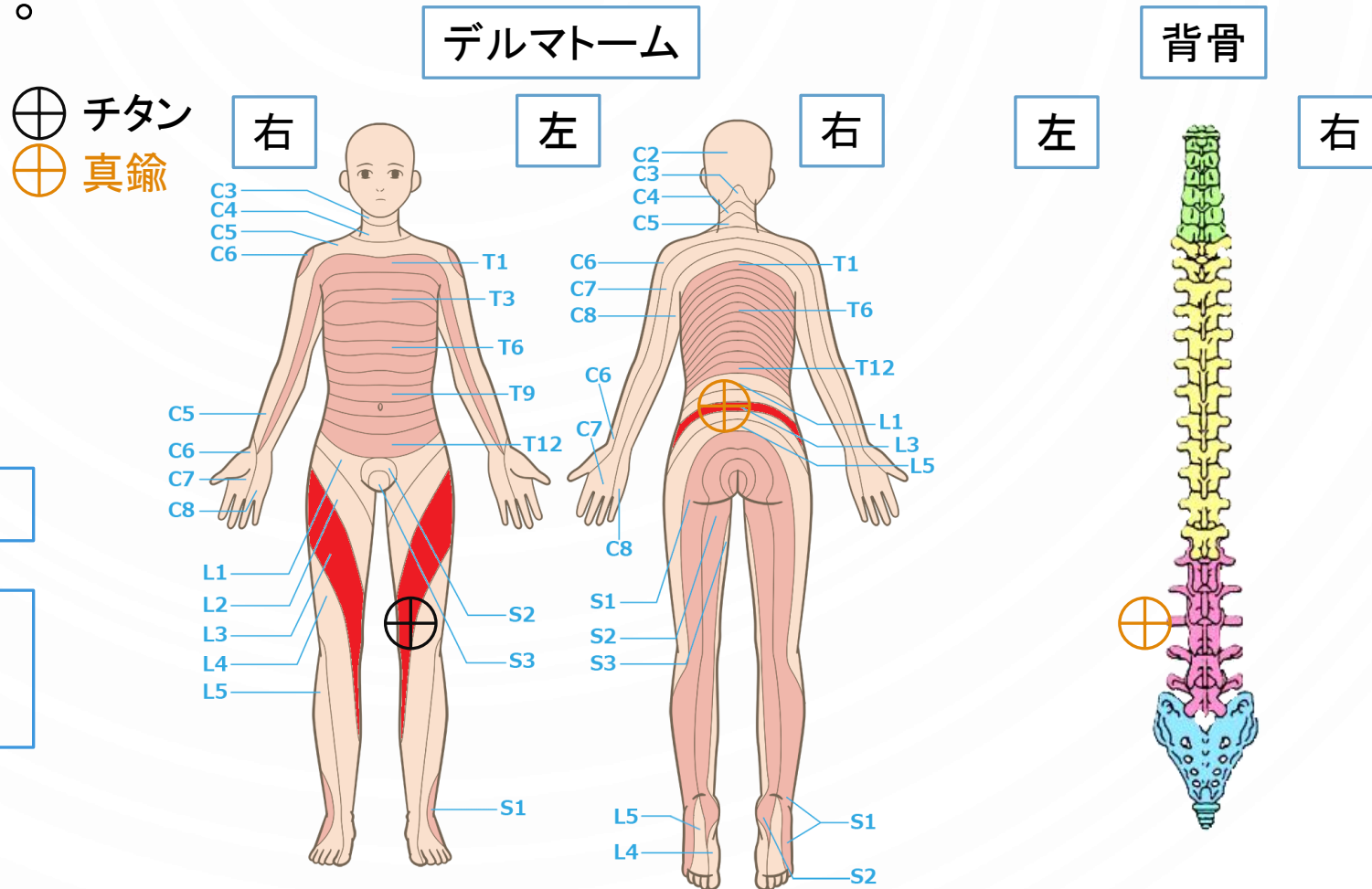
## 痛みへの対処法

痛みのあるところにチタンをあて、その関連するツボや神経、デルマトームの根本に真鍮を当てます。



例:左膝の痛み

チタン:膝の痛いところ  
真鍮:左L3棘突起脇



# 2.プローブの使い分け(使い方)

## 凝りへの対処法

凝ってる部位に真鍮、その関連するツボや神経、デルマトームの根本にチタンを当てます。



例:左肩の凝り

真鍮:左肩の凝り  
チタン:左C4棘突起脇  
もしくは三焦経井穴(関衝)や外関

